

# 知って、備えて、 浸水に強いまちへ

近年の気候変動に伴い豪雨災害が頻発する中、多摩地域でも市街化が進み、森林など浸透能力の高い土地が減少している傾向があります。

浸水の危険性を正しく理解し、一人ひとりが取り組むことで、浸水災害リスクの低減につながります。

その具体的な対策として有効なのが、「雨水貯留槽」の設置です。市では購入費を助成していますので、この機会にぜひ導入をご検討ください。



## 事前に知る

大雨による浸水の危険性を  
確認しましょう  
～雨水出水浸水想定区域を  
指定しました～

雨水出水浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨時に、下水道や水路などの排水施設が雨水を処理しきれなかったり、川の水面が上昇して雨水を排水できなかつたりすることで、市街地に水があふれる「内水氾濫」が予想される区域のことです。

市では、令和8年3月1日に多摩市雨水出水浸水想定区域を指定しました。

お住まいの地域や職場など、よく利用する場所の浸水の危険性を事前に確認して、日頃の備えや大雨の際の安全な避難行動にご活用ください。

閲覧場所 市役所 2階防災安全課 1010  
19694 防災安全課 ☎(338)6802



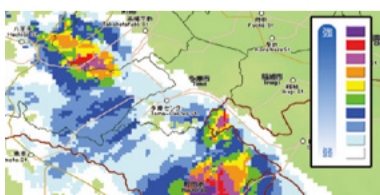
▲詳細はこちら



## 東京アメッシュで降雨状況を確認しましょう！

東京アメッシュは東京都下水道局が提供する降雨情報サイトです。お住まいの地域の降雨情報がリアルタイムで確認できますので、ぜひご活用ください。

東京都下水道局流域下水道本部技術部計画課 ☎042(527)4828



▲東京アメッシュのイメージ



## 豪雨に備えて

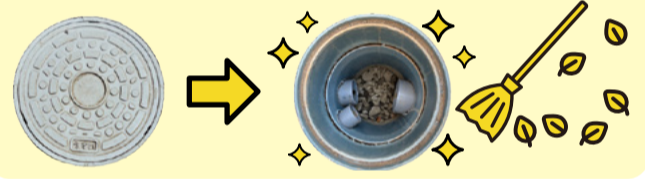
側溝・水路にごみを捨てないでください ～6月は浸水対策強化月間です～

雨水ますや側溝・水路がふさがっていると、雨水が雨水管に流れ込まず、浸水の危険性が高まります。ごみを捨てたり、上に物を置いたりしないようにしましょう。



### 雨水浸透ますを定期的に清掃しましょう

市では、宅地などの開発に合わせて、雨水を地中に染み込ませるための雨水浸透ますの整備を原則とし、設置を進めています。雨水浸透ますの効果が最大限に発揮できるように、定期的に蓋を開け、落ち葉や泥が溜まっている場合は除去しましょう。



## 雨水貯留槽を設置しませんか？ ～購入費を助成しています～

市では雨水貯留槽を設置された方へ、購入費の一部補助を行っています。ぜひご活用ください。



### ●浸水対策だけじゃない！ 雨水貯留槽を設置するメリット

浸水災害リスクを低減するだけでなく、雨水を有効利用することができます。

- ・植木への水やり
- ・車の洗浄
- ・掃除用水



### ●対象

以下のすべてを満たす方・事業所

- ①市内に住所を有する個人および市内に所在する団体に、市内に所有する家屋などに市販の雨水貯留槽を設置した
- ②雨水貯留槽を設置し、同一年度内に申請を行った
- ③市税などを滞納していない

### ●補助限度額など

補助対象の貯留槽	補助限度額	備考
1基当たりの容量が100リットル以上の雨水貯留槽	30,000円(本体購入価格(消費税・運搬費および設置費などを除く)の1/2)	建物(集合住宅については1戸)当たり2基まで
1基当たりの容量が500リットル以上でトイレ洗浄水に利用する大型雨水貯留槽	100,000円	トイレ洗浄水として利用した場合は下水道料金の徴収対象。自己負担で雨水計測用メータなどを設置する必要あり

備考申請から交付まで1カ月程度 1002428 雨水貯留槽を購入・設置後、補助金交付申請書・雨水貯留槽の購入を証明する領収書(製品名・本体価格および税率・購入日が明記されているもの)・設置状況を写した写真・雨水貯留槽の構造が分かる取扱説明書の写しなど、借家・集合住宅などの場合は家主・管理組合など当該家屋を管理する者の同意書を、直接持参で、市役所第二庁舎1階下水道課へ



詳細はこちら▶

1002436 下水道課 ☎(338)6842

